

国土交通省都市交通検討会
第1回都市交通軸ワーキンググループ
2026年3月6日(金) 16:00-18:00
@国土交通省

姥浦の日頃の疑問・悩み

姥浦 道生

東北大学災害科学国際研究所 教授
ubaura@tohoku.ac.jp

富山での議論

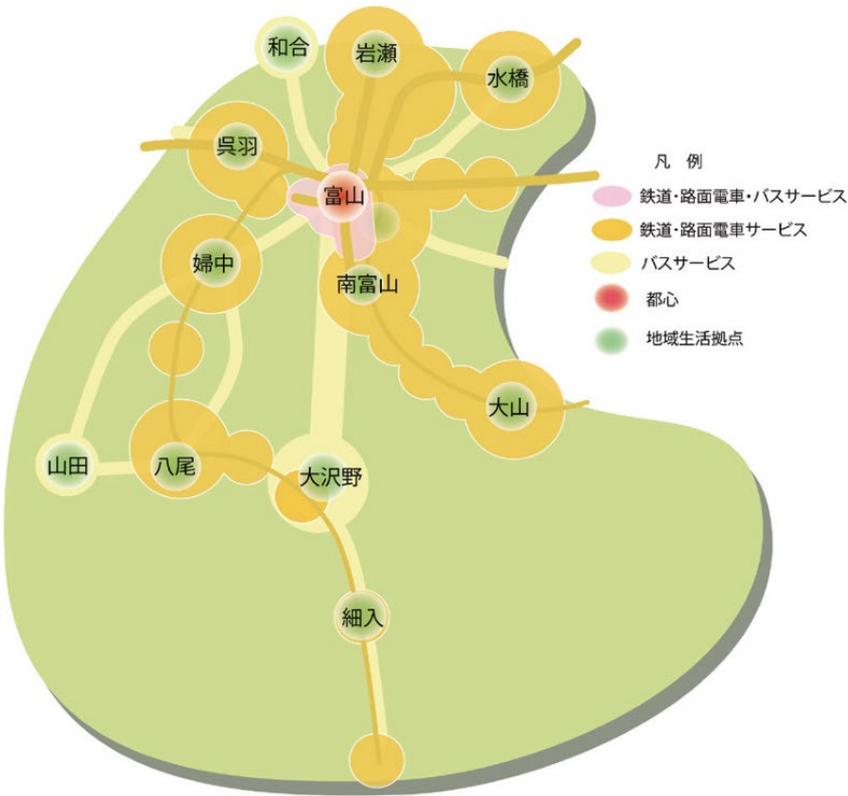


富山市都市マスタープラン

富山市が目指すお団子と串の都市構造

串：一定水準以上のサービスレベル
の公共交通

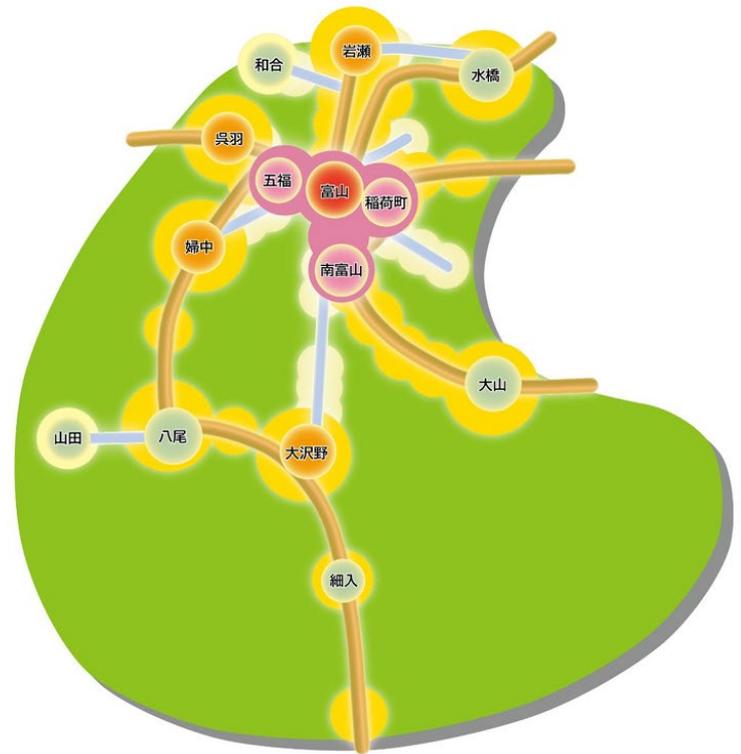
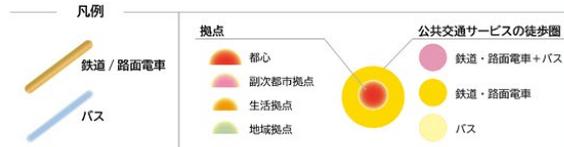
お団子：串で結ばれた徒歩圏



都市の再構築による「お団子と串」の都市構造

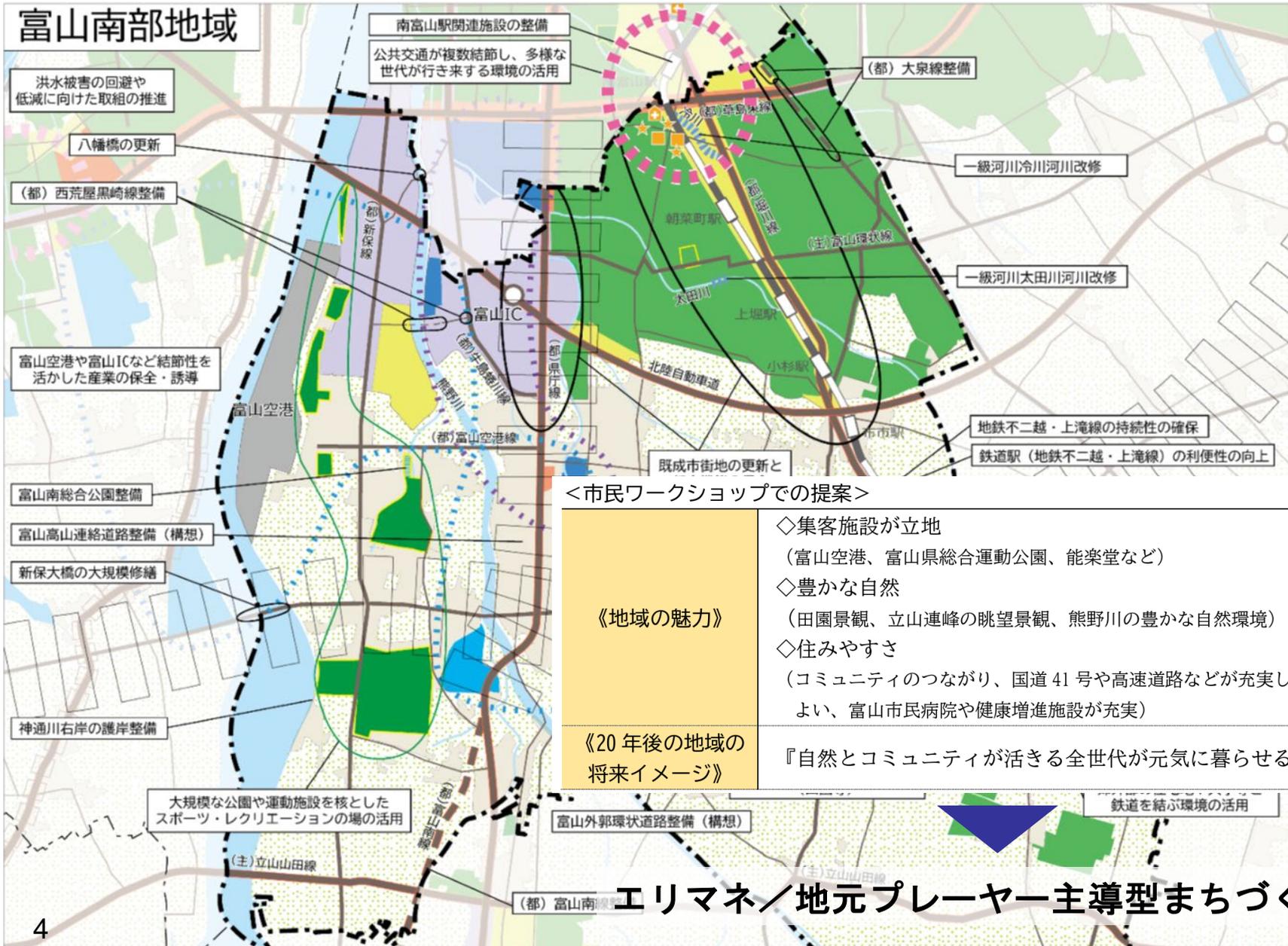
使いやすい「串」:
利便性や質の高い公共交通

色付けされた「お団子」:
串で結ばれた特色ある徒歩圏



団子の特色を

富山南部地域



<市民ワークショップでの提案>

<p>《地域の魅力》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇集客施設が立地 (富山空港、富山県総合運動公園、能楽堂など) ◇豊かな自然 (田園景観、立山連峰の眺望景観、熊野川の豊かな自然環境) ◇住みやすさ (コミュニティのつながり、国道41号や高速道路などが充実しアクセスがよい、富山市民病院や健康増進施設が充実)
<p>《20年後の地域の将来イメージ》</p>	<p>『自然とコミュニティが活きる全世代が元気に暮らせるまち』</p>

エリマネ／地元プレイヤー主導型まちづくり

「大きな団子」

容積率の時代の終焉：北上市3階建て優建



容積以外のインセンティブ？補助金？？？

<国による推進策の実現に向けた取組>

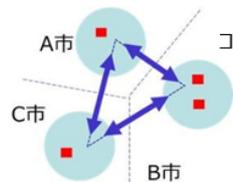
①市町村域を越えた広域連携の強力な推進

・立地適正化計画の実効性を一層高めていくためには、**各市町村がそれぞれの域内で取組を行うのみならず、市町村域を越えた広域的な取組を進めていくことが重要である。**

・このために、都道府県による広域連携への関与を強化し、広域的な実効性を高める。

・併せて、広域的な立地適正化に資する取組について、支援を強化する。

都道府県の関与



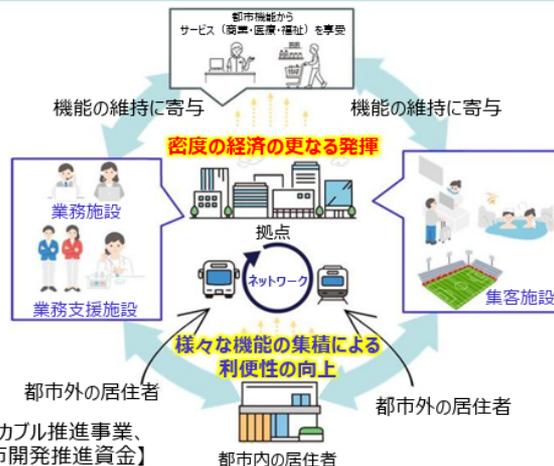
【先導的まちづくり調査、コンパクト・プラス・ネットワーク関係経費、都市構造再編集中支援事業等】

②まちなかにおける業務施設等の立地促進

・持続可能な都市構造の実現に向けて、**居住と業務施設等との近接性を確保**することが、就業者等も含めた人々にとってのまちの魅力の向上、「稼ぐ力」の強化、イノベーションの創出において重要である。

・そのため、**広域連携の観点を踏まえた上で、業務施設等のまちなかへの立地を促進**する。

【都市構造再編集中支援事業、まちなかウォークラブル推進事業、まち再生出資事業、民間都市開発推進資金】



③市町村による計画の適切な評価・見直しと作成に対する継続的な支援

・市町村が、容易に立地適正化計画の評価・見直し・新規作成ができるよう、標準的なデータ、評価構造、見直しの方策を提示する（**まちづくりの健康診断の継続実施**）。

・これにより、**市町村が行う計画の評価・見直し・作成を後押しする。**

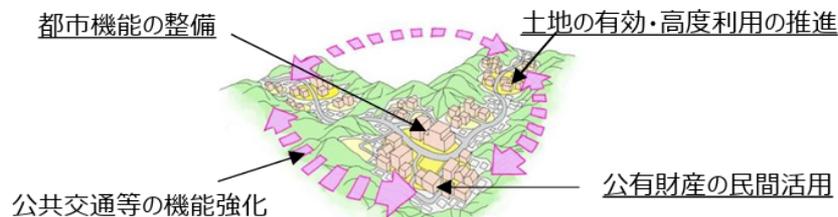


【コンパクト・プラス・ネットワーク関係経費、先導的まちづくり調査】

④適切な都市機能の集積の推進

・「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現に向けて、まちなかにおける都市機能の整備や公有財産の民間活用、土地の有効・高度利用の推進、都市軸となる公共交通および複数のモビリティを結節する拠点の機能強化等への支援を実施する。

【都市構造再編集中支援事業、市街地再開発事業等、都市再生区画整理事業、都市・地域交通戦略推進事業】



マンション+駐車場の対案市街地像は？



「小さな団子」

20年前の習作ですが . . .

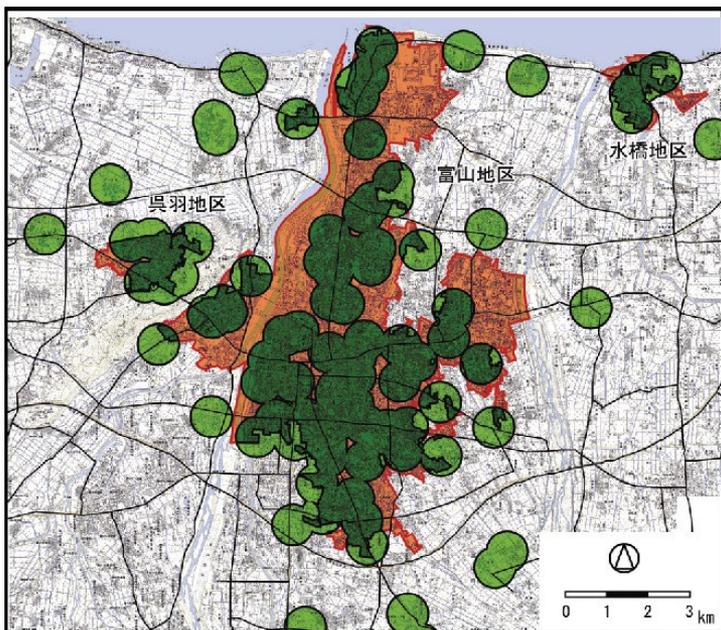


図3 富山市 DID とスーパー徒歩圏の関係 (1990)

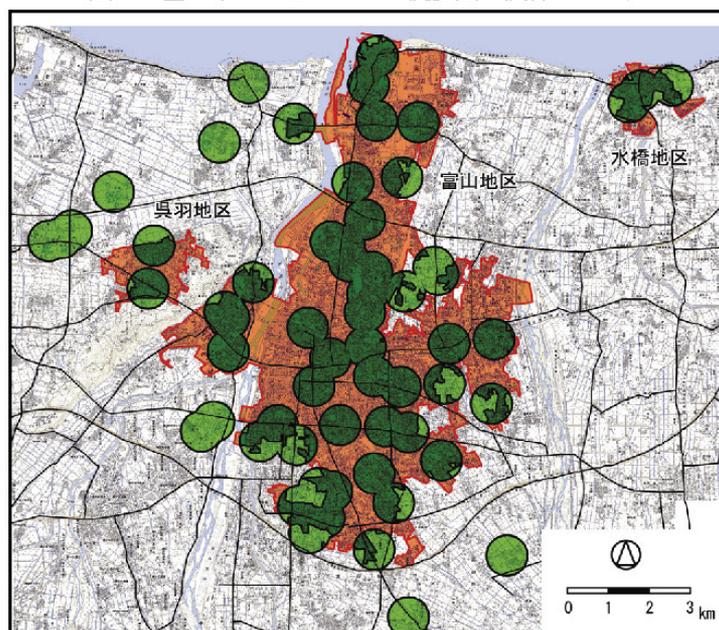


図4 富山市 DID とスーパー徒歩圏の関係 (2005)

表1 富山市のスーパーの立地と DID の関係

	1990年	2005年
DID内立地数	69	43
DID外立地数	31	20
合計	100	63
DID内立地率(%)	69.0	68.3

表2 富山市 DID のスーパー徒歩圏 (500m) カバー面積・率

1990年	面積 (ha)	カバー面積 (ha)	カバー率 (%)
DID内合計	4,968	3,122	62.8
富山地区	4,567	2,801	61.3
水橋地区	185	138	74.6
呉羽地区	216	183	84.7
DID外	15,913	2,403	15.1
市合計	20,881	5,525	26.5

2005年	面積 (ha)	カバー面積 (ha)	カバー率 (%)
DID内合計	5,207	2,640	50.7
富山地区	4,784	2,417	50.5
水橋地区	177	118	66.7
呉羽地区	246	105	42.7
DID外	15,674	1,496	9.5
市合計	20,881	4,136	19.8

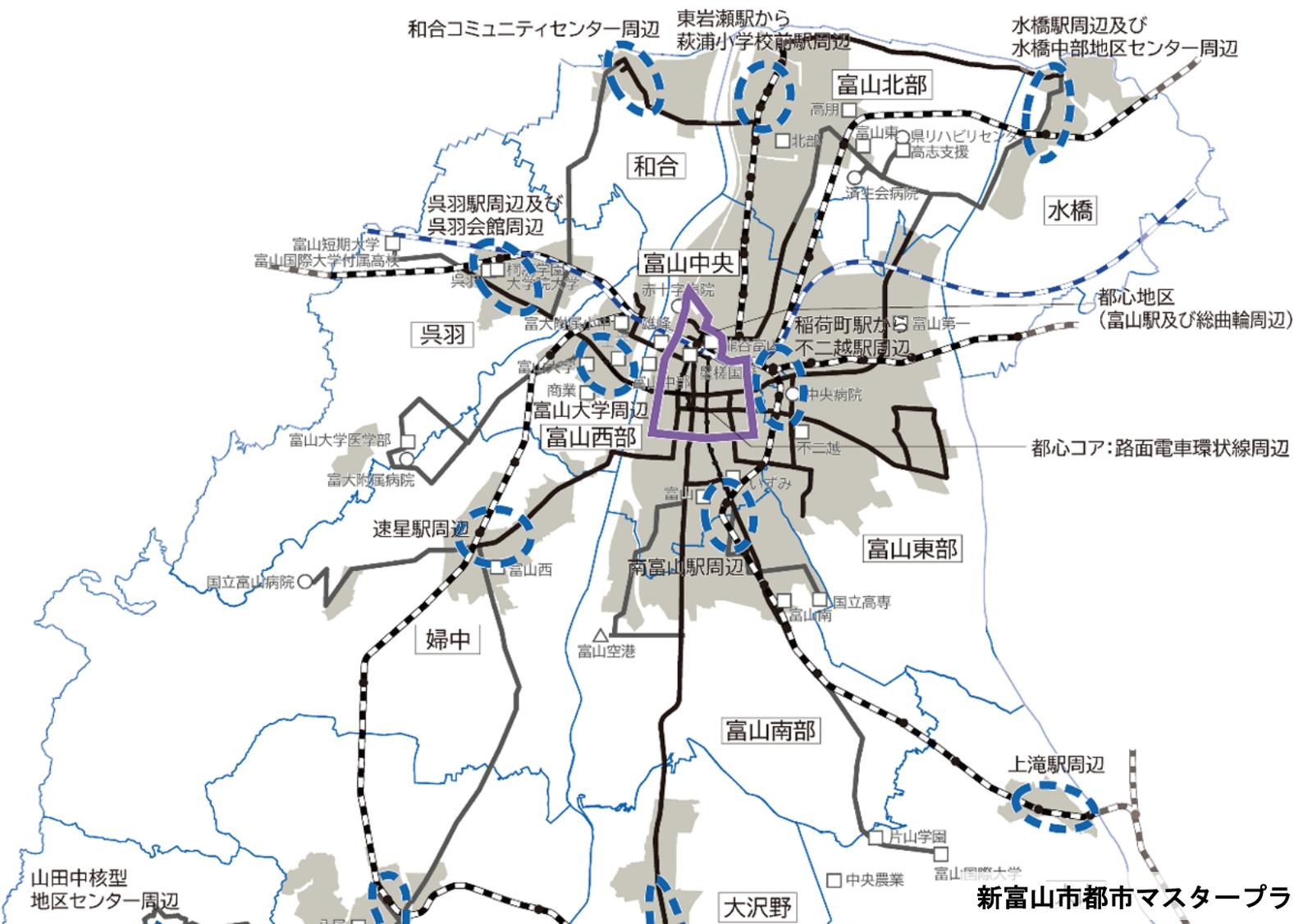
で、野菜を買うのにどこまで歩いて行けばいいんですか？
 —地方都市における最寄り供給に関する都市計画的課題—
 姥浦道生 (大阪市立大学)

※GIS処理のため誤差が生じている場合があるが、いずれも1%未満である



あ . . .

■地域生活拠点(都心地区を含む)

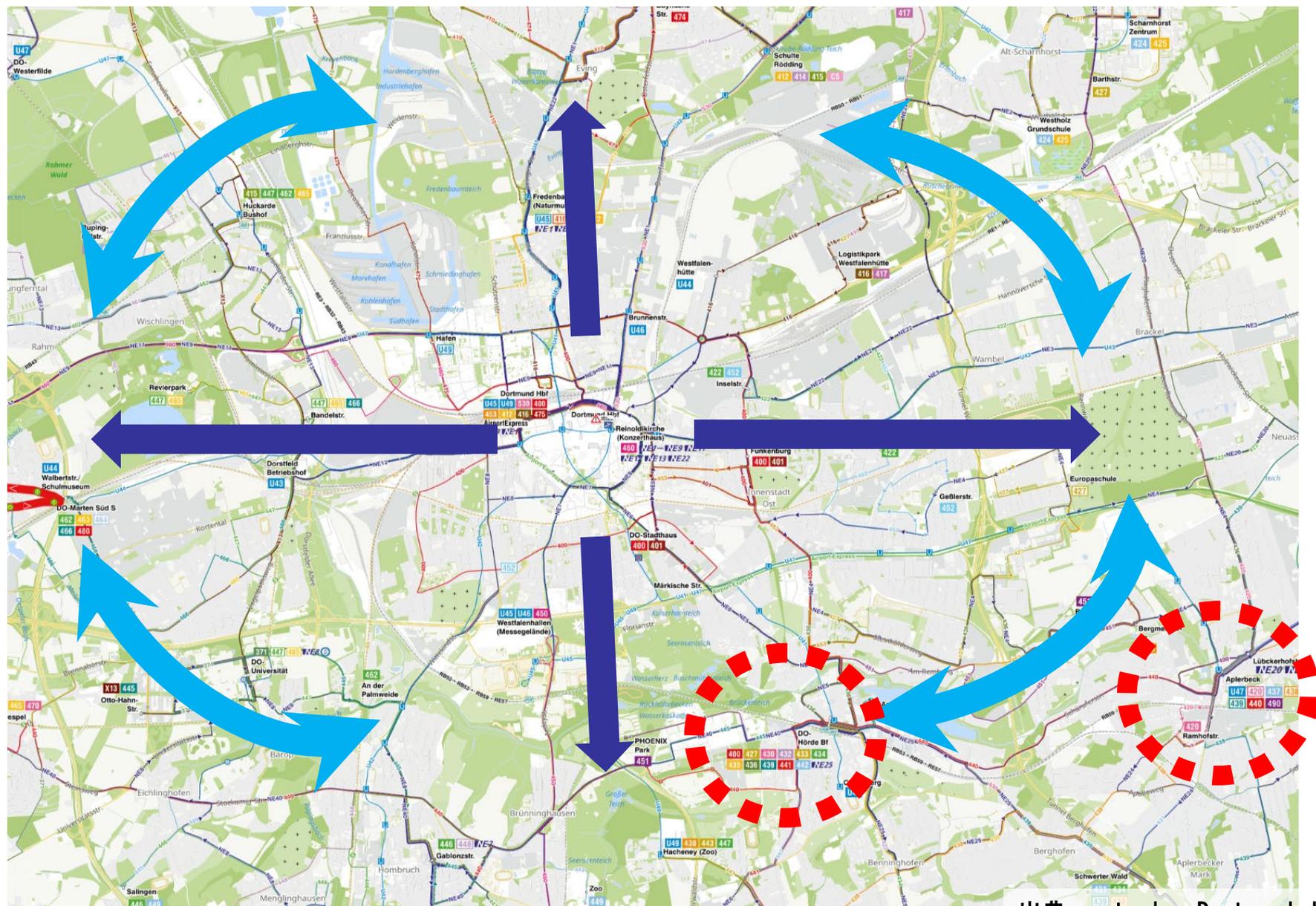


これを理想と思っているのか？



交通ネットワークと団子

放射／環状ネットワーク

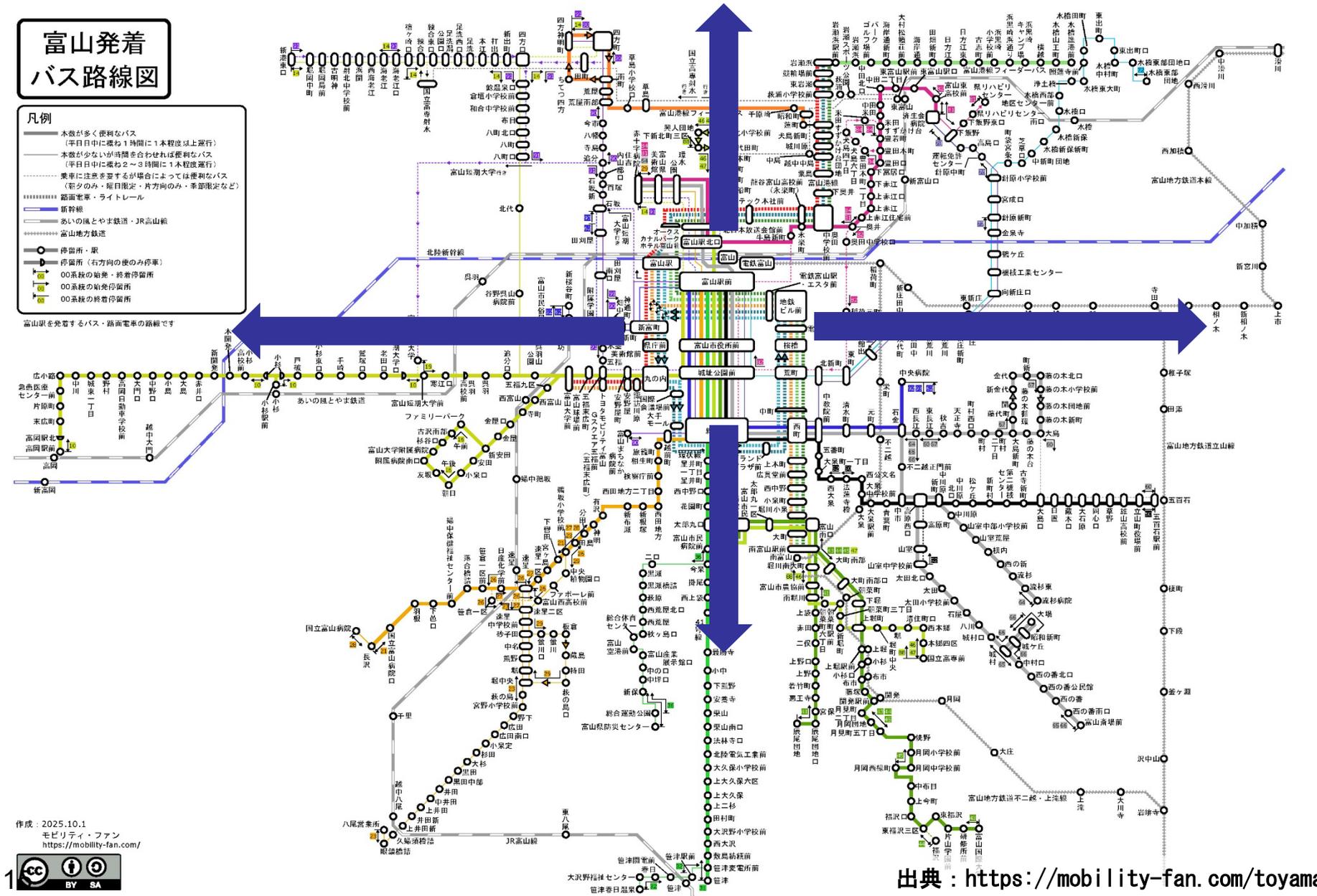


放射ネットワーク

富山発着 バス路線図

- 凡例**
- 本数が多く便利なバス (平日中に概ね1時間以上運行)
 - 本数が少ないが混雑を合わせれば便利なバス (平日中に概ね2~3時間に1本程度運行)
 - 乗車に注意を要するが場合によっては便利なバス (朝夕のみ・曜日限定・片方向のみ・季節限定など)
 - 路面電車・ライトレール
 - 新幹線
 - あいの風とやま鉄道・JR高山線
 - 富山地方鉄道
 - 停留所・駅
 - 停留所 (右方向の便のみ停車)
 - 00系統の始発・終着停留所
 - 00系統の始発停留所
 - 00系統の終着停留所

富山駅を発着するバス・路面電車の路線です





- 富山での議論
 - 串から団子へ
 - 多様な団子：それぞれ色が違う（垂直的機能）、味が違う（地区の特色）
 - 形成に向けて：ボトムアップ・エリマネ・地元プレイヤー主導

- 大きな団子：ダウンサイジングと質の確保
 - まだ容積率か？
 - 量を抑えた方が再開発しやすい？→北上的ダウンサイジング再開発
 - むしろ誘導すべきは小さいもの？質を誘導する方策？
 - マンション+駐車場（共にそれなりに需要あり）という街は魅力的か？

- 小さな団子：集約化は可能か？
 - 核の形成が意識されていない（かった？）官民の施設立地 →拡散する核
 - むしろ溶ける／移動する（ミニ郊外化）：小さな団子なのに歩いて移動できず
 - 小さな団子の中の構造（中の移動を含め）をどう考えるか？

- 交通ネットワークのあり方と団子
 - 放射環状ネットワーク vs 放射ネットワーク：放射環状交通の結節点がサブ拠点・・・？